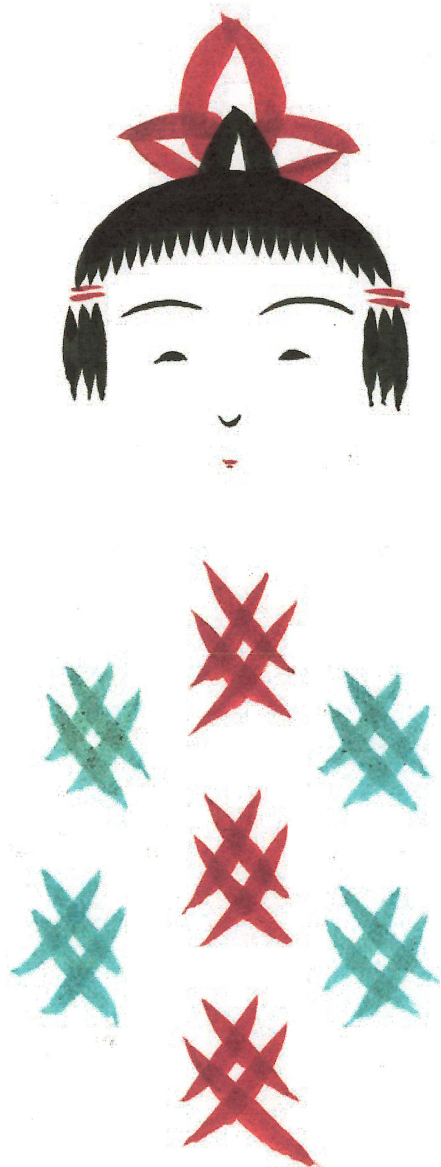


# 第46回 秋田県こけし展

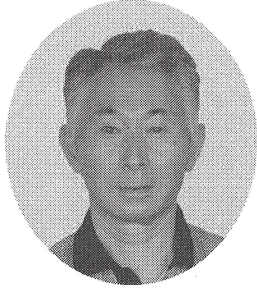


秋田本庄  
菅原修

期間：令和5年8月5日・6日  
会場：湯沢ロイヤルホテル2階  
主催：秋田県こけし展実行委員会  
後援：秋田県・湯沢市・秋田こけし会・秋田魁新報社・河北新報社  
朝日新聞秋田総局・毎日新聞秋田支局・読売新聞秋田支局  
NHK秋田放送局・ABS秋田放送・AKT秋田テレビ  
AAB秋田朝日放送・エフエム秋田・エフエムゆーとぴあ  
湯沢市芸術文化協会・一般社団法人湯沢市観光物産協会

表紙絵：菅原 修

## 第46回秋田県こけし展の開催にあたって



第46回秋田県こけし展実行委員会 委員長  
秋田県こけし工人会会長

三 春 文 雄

第46回秋田県こけし展が、皆様からの御支援、御尽力により開催できましたことを、心から厚くお礼申し上げます。

このこけし展は、秋田のこけしが一堂に会し、全国からお越しいただくこけしファンの皆様に、その素朴な魅力を楽しんでいただくイベントとなっております。新型コロナウイルス感染症のまん延による度重なる延期がございましたが、昨年は約2年半ぶりに開催でき、全国のこけしファンの皆様にも御来場いただき、大いに盛り上がりを見せました。

本年も湯沢七夕絵どうろうまつりに併せて開催できる運びとなり、大変喜ばしく感じております。会場内では、各工人の熟練された技術による数々の作品の展示即売に加え、秋田県知事賞をはじめとするコンクール受賞作品の展示、こけし製作実演、絵付け体験、特別展示『本荘こけし今昔』などの様々な企画を用意しております。御来場くださった皆様には、秋田県こけし展と七夕絵どうろうまつりを心から楽しんでいただけますと幸いに存じます。

新型コロナウイルス感染症が収束に向かい、人の行動の活発化が進んでいく中で、本年はより多くの方がこけしの魅力に触れてくださることを期待しております。

結びに、関係者の皆様、そして開催を待ち望んでくださっていた多くのこけしファンの皆様に深く感謝申し上げ、あいさついたします。

## ごあいさつ



湯沢市長 佐藤 一夫

第46回秋田県こけし展が、盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

昨年、約2年半ぶりに再開されました本展示会には、全国のこけし愛好家の皆さまにお越しいただき、大盛況でありました。本市の夏の風物詩であります「七夕絵どうろうまつり」に併せ、昨年に引き続き、秋田県こけし展が開催の運びとなりましたことは、関係者の方々の御尽力の賜物と厚く御礼申し上げます。

さて、こけし業界においても、コロナ禍における影響は大きいものがあったと思いますが、3年以上にわたり続いた新型コロナウイルス感染症も、感染症法上の分類が移行されたことに伴い、現在は「アフターコロナ」における経済活動が本格化している状況にあります。すでに国内ではインバウンドをはじめとした人の往来がコロナ禍前の状況にまで戻りつつあることから、本市においても観光スポットやイベントにおいて、活気や賑わいを取り戻してきており、地域経済への波及の期待感も膨らんでおります。

2010年頃から始まったといわれるこけしの「第3次ブーム」は、10年経った今でも、むしろ年々高まってきており、海外でも「クールジャパン」を体現する商品として、こけしの人気は続いていると伺っております。

近年は少子高齢化や人口減少に伴い、こけし産業においても後継者育成が喫緊の課題と伺っております。社会情勢が刻々と変わる中、この度の展示会が大きな弾みとなり、秋田県のこけし産業が更に飛躍できますことを御期待申し上げます。

結びに、本展示会の開催に当たり、御尽力いただきました工人の方々をはじめ、関係者の皆様に敬意を表しますとともに、秋田県こけし展の御盛会と、こけし文化のさらなる御発展を祈念申し上げまして挨拶といたします。

## 第46回秋田県こけし展開催要項

1. 目 的 秋田県の風土に根づき育ってきた民芸品である「伝統こけし」の歴史を基点とし、それぞれの系統の工人が持つ特色や流れを紹介しながら「こけし」の素晴らしさをより多くの人に知っていただくとともに、製作に従事する工人たちの技術研鑽及び意匠開拓の場を提供することにより、優れた伝統的工芸品の育成と発展を図り、もって秋田県の観光と物産の振興に寄与することを目的とする。
2. 名 称 第46回秋田県こけし展
3. 主 催 秋田県こけし展実行委員会
4. 後 援 秋田県・湯沢市・秋田こけし会・秋田魁新報社・河北新報社  
朝日新聞秋田総局・毎日新聞秋田支局・読売新聞秋田支局  
NHK秋田放送局・ABS秋田放送・AKT秋田テレビ  
AAB秋田朝日放送・エフエム秋田・エフエムゆーとぴあ  
湯沢市芸術文化協会・一般社団法人湯沢市観光物産協会
5. 会 場 湯沢市田町2-2-38  
湯沢ロイヤルホテル 2階
6. 会 期 令和5年8月5日（土）から6日（日）までの2日間
7. 出 品
  - (1) 出品資格  
秋田県のこけし製作者若しくは木地山系こけしの製作者で、過去1年以上それに従事している者。
  - (2) 出品申込  
所定の申込書に記入のうえ、令和5年6月23日（金）まで秋田県こけし工人会事務局（TEL0183-72-2031）に申し込むこと。ただし、出品できる作品は過去1年以内に製作されたものに限る。

(3) 出品料

無 料

(4) 搬入期日及び場所

イ. 期日 令和5年8月4日(金) 午前10時から

ロ. 場所 湯沢ロイヤルホテル 2階

ハ. 費用 搬入に要する費用は出品者の負担とする。

(5) 出品作品の受理保管

出品作品の受理保管については、主催者が善良な管理者の注意をもって作品を保管する。ただし、天災、その他不可抗力によって生じた損害については、その責を負わない。

(6) 搬出及び送料

搬出は、展示会終了後ただちに行い、搬出に要する費用は出品者の負担とする。

8. 実 演 会期中、こけし工人によるこけしの製作及び描彩実演を行う。

9. 体験絵付 会期中、来場者に絵付けの体験指導を行う。ただし、体験者は材料費として一人700円を負担するものとする。

10. 即 売 会期中は即売を行い、こけし工人会会員の販売手数料は20%、非会員は25%とする。  
なお、会場費は主催者が負担するものとする。

11. 提供品 会期中、抽選会を開催するので、出展者の方にサービス品としてミニこけし(小寸)3本の提供をお願いする。

12. その他 その他必要事項は、主催者が別に定める。

## 第46回秋田県こけし展コンクール出品規定

**第1条** コンクールには次の部門を設ける。

- (1) 工人部門  
秋田県内のこけし製作者若しくは木地山系こけしの製作者で、過去1年以上製作活動に従事している者。
- (2) 一般部門  
県内在住のこけし製作に興味関心を持ち、自らの作品の出品を希望する者。

**第2条** コンクールへの出品に関しては次のとおり取り扱うものとする。

- (1) 出品申込  
所定の申込書に記入のうえ、事務局が指定する期日までに申し込む。  
ただし、出品できる作品は過去1年以内に製作されたものに限る。
- (2) 出品料  
無料とする。
- (3) 搬入日時及び場所  
①日時 令和5年8月4日(金) 午前10時から  
②場所 湯沢ロイヤルホテル 2階  
(湯沢市田町2-2-38 TEL0183-72-2131)  
③費用 搬入に要する費用は出品者の負担とする。
- (4) 出品作品の受理保管  
出品作品の受理保管については、主催者が善良な管理者の注意をもって作品を保管する。ただし、天災、その他不可抗力によって生じた損害については、その責を負わない。
- (5) 搬出及び送料  
搬出は、展示会終了後ただちに行い、搬出に要する費用は出品者の負担とする。

**第3条** 審査は次の事項を勘案して行う。ただし、一般公募部門に関してはこの限りでない。

- (1) 作品に対する評価  
①形態、描彩の技術  
②木地仕上げ、技術の精度  
③用材の選択
- (2) 工人に対する評価  
①こけし製作の経験力、年数  
②過去における作品の評価

**第4条** 審査委員は、学識経験者の中から主催者が委嘱し、審査委員会を構成する。

**第5条** 審査委員会の運営は、委員の互選により委員長1名を定め、その指示によって行う。

- 第6条** 審査は授賞候補作品の中から、審査委員の合議により授賞作品を決定する。
- 第7条** 伝統こけしの製作者のうち、多年にわたり研鑽を重ねた優秀な工人を無審査工人として推戴する。
- 第8条** 審査においては新人育成に考慮する。
- 第9条** 審査会場には委員長が許可する者以外の立ち入りを禁止する。
- 第10条** 審査委員は次のとおりとする。  
秋田県 産業労働部 地域産業振興課長  
株式会社 秋田県物産振興会 代表取締役社長  
秋田こけし会 会長  
湯沢市観光物産協会  
主催者（実行委員会委員長）が推薦する者  
湯沢市 産業振興部長 （以上予定）
- 第11条** 審査日時及び場所  
①日時 令和5年8月4日（金）午後1時30分から  
②場所 湯沢ロイヤルホテル 2階
- 第12条** 審査の結果、優秀作品に対し奨励賞として次のとおり賞状並びに副賞を贈る。  
(1) 工人部門  
秋田県知事賞・湯沢市長賞・秋田魁新報社賞・河北新報社賞  
朝日新聞社賞・毎日新聞社賞・読売新聞社賞・湯沢市芸術文化協会会長賞  
(2) 一般部門  
実行委員会委員長奨励賞 （以上予定）
- 第13条** 上記授賞作品については永年保存するものとし、一般に公開するため主催者が所有するものとする。
- 第14条** 授賞式日時及び場所  
①日時 令和5年8月4日（金）午後2時30分から  
②場所 湯沢ロイヤルホテル 2階
- 第15条** この規定に定めない必要な事項は、審査委員会と主催者の協議により決定する。

## 第46回秋田県こけし展行事日程

### 8月4日(金)

- ・こけしコンクール 午後1時30分 湯沢ロイヤルホテル2階
- ・コンクール表彰式 午後2時30分 湯沢ロイヤルホテル2階

### 8月5日(土)

- ・展示即売、実演 午前9時30分～午後6時  
湯沢ロイヤルホテル2階
- ※絵付け体験 午前10時～午後5時

### 8月6日(日)

- ・展示即売、実演 午前9時～午後5時  
湯沢ロイヤルホテル2階
- ※絵付け体験 午前10時～午後4時

## 第46回秋田県こけし展運営機構

### 秋田県こけし工人会

実行委員長 三 春 文 雄 (工人会会長)

副実行委員長 菅 原 修

総 括 高 橋 雄 司

実 演 担 当 高 橋 一 成

絵 付 担 当 藤 原 勝 郎

展 示 担 当 沼 倉 孝 彦

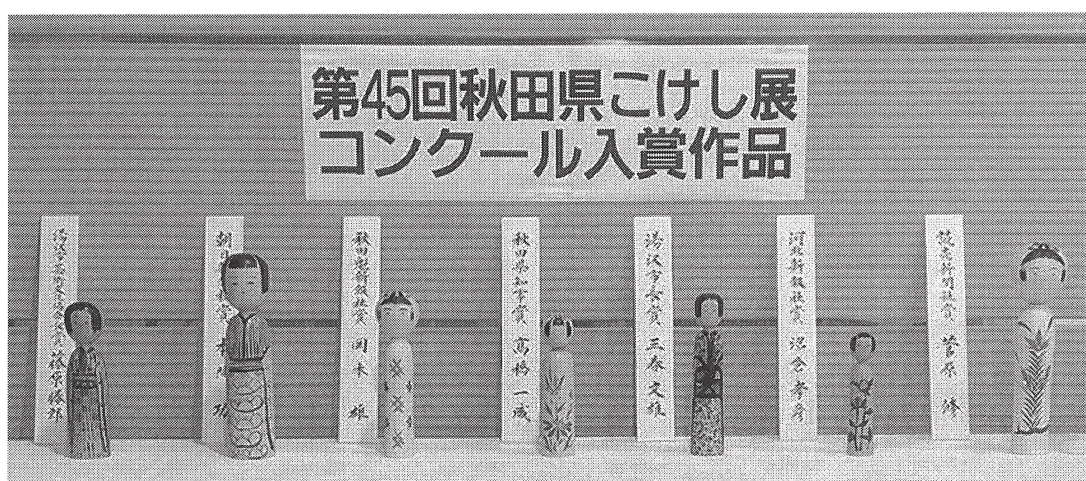
事 務 局 沼 倉 孝 彦



## 「第46回秋田県こけし展・こけしコンクール」出品者名簿

No.	氏名	郵便番号	住所	電話番号
1	三春文雄	012-0106	湯沢市三梨町字下宿57	0183-42-3133
2	藤原勝郎	012-0106	湯沢市三梨町字上堀222	0183-42-3695
3	沼倉孝彦	012-0822	湯沢市字下山谷225-1	0183-72-2031
4	本間功	019-0522	横手市十文字町梨木字海道下38-3	0182-42-0029
5	菅原修	015-0041	由利本荘市薬師堂谷地240-15-205	080-6054-6637
6	佐藤達雄	012-0105	湯沢市川連町字大館屋布前41-7	0183-42-3534
7	佐藤こずえ	015-0890	由利本荘市船ヶ台15-44	0184-24-4708
8	高橋一成	019-1404	仙北郡美郷町六郷字赤城9-6	090-7328-7638
9	田村正	010-0973	秋田市八橋本町1-3-29	090-8616-4974
10	齋藤祥子	018-0604	由利本荘市西目町沼田字新道下4-3	080-2830-0604
11	岡本雄	018-0851	由利本荘市平岫字牛王瀬14	090-3270-7730

### 第45回 秋田県こけし展コンクール入賞作品



# 伝統こけし11系統

## □ 作並系

作並温泉を中心とする系統で、頭頂に輪形の赤い飾りを描き、胴は下部が少し細い直胴で、上下のロクロ線の間には独特の菊花模様が描かれる。

## □ 山形系

作並で修業した小林家が、山形で始めた系統で、頭部には、作並に似た輪飾りに放射線を加えた模様を描き、胴は細目で、上下の鉋溝またロクロ線の中に梅又は桜、菊などの模様を描く。

## □ 弥治郎系

宮城県白石市の弥治郎集落を中心として発達。特徴は頭が胴に比較して大きく、頭頂には色鮮やかなロクロ線が二重、三重に入り、帽子をかぶっているように見える。胴模様は色調豊かなロクロ模様と簡素な手描き模様を併用したものがある。また、一部に梅やアヤメ、菊などを描いたものも見られる。構造は胴を頭部に差し込む「挿しこみ式」が主体であるが、「はめこみ式」もある。

## □ 土湯系

福島県土湯温泉で生まれ、現在は土湯温泉、福島市、飯坂温泉、川俣などで作られている。中央部がややふくらんだ細身の胴に、ロクロ線を主体とした簡素な胴模様が特徴。頭頂にもロクロを駆使した「蛇の目」模様が入り、前髪は両側には紅のかせを描く。構造は首を胴にはめ込む「はめこみ式」に作られる。

## □ 鳴子系

宮城県鳴子温泉を中心に発達。こけし産業の最大産地。大きな頭と中央部がややくびれた形は均整がとれ、安定感がある。胴模様に写実的な大輪の菊が描かれる。構造は頭を胴にはめ込む「はめこみ式」で、首を回すとキイキイと鳴ることで知られる。

## □ 遠刈田系

宮城県遠刈田温泉で生まれ発達。胴が細く頭が大きいのが特徴。頭部には赤の手絡、前髪から鬢まで赤の鬘飾りが描かれ、胴には重ね菊や桜くずし、枝梅、木目など多様で華麗な模様が描かれる。構造はほとんどが「さしこみ式」に作られる。

## □ 木地山系

秋田県湯沢市の木地山と川連町を中心に発達。頭部と胴体がつながっている「つくりつけ」の構造が現在の大きな特徴。古くは、目を一筆描にして瞳を省略、眉毛も省略し、胴は簡単な菊模様が多い。故小椋久四郎によって前垂模様が描かれるようになって以来、前垂模様と菊模様が主流となる。また、頭部の後ろにつん毛を付けるのも特徴である。

## □ 蔵王系

明治年間に遠刈田系の流れを受け、山形県蔵王温泉に発達した。遠刈田系の影響を受けつつも、量感豊かな安定感があるものに変化している。頭部は赤い放射状や黒いオカッパに作られる。胴模様は重ね菊や紅花、桜、牡丹などで、あでやかな彩色。

## □ 肘折系

山形県肘折温泉で鳴子・遠刈田両系の影響を受けつつ発達。胴は鳴子系で肩が張り直胴かやや裾が広がったものが多い。頭部は赤い放射状や黒いオカッパを描き、描彩は遠刈田系に似た重ね菊が描かれているが、肘折系特有の表情に仕上がる。

## □ 南部系

岩手県旧南部領に伝わる「キナキナ」と呼ばれる無彩のおしゃぶり形式の玩具が無彩のまま、あるいは描彩をほどこして、こけしとして発達した。頭はゆるいはめこみ式で、手にとると首がクラクラと動く、いわゆるキナキナ形式が基本であり、特色である。

## □ 津軽系

青森県温湯温泉を中心に大鰐温泉など津軽地方で発達した。11系統中最も新しく大正時代から作られるようになった。頭はオカッパ、胴模様はねぶた絵の牡丹やダルマ絵、アイヌ模様などあでやかなものや、直胴に簡素な描彩をほどこしたものなど多様。構造はつくりつけが特徴。



# 秋田県こけし展コンクール歴代受賞者

(コンクールは第2回から)

## 第2回 受賞者

秋田県知事賞	小野寺 正 徳	稲 川 町
湯 沢 市長賞	鈴 木 幸太郎	湯 沢 市
秋田魁新報社賞	井 川 武 松	湯 沢 市
河北新報社賞	佐々木 春 男	皆 瀬 村
湯沢ショッピングデパート賞	佐々木 和 郎	湯 沢 市
稲 川 町長賞	宮 原 泰 治	湯 沢 市

## 第3回 受賞者

秋田県知事賞	小野寺 重 一	稲 川 町
湯 沢 市長賞	小野寺 幸 楽	湯 沢 市
秋田魁新報社賞	小 椋 正 吾	稲 川 町
河北新報社賞	佐 藤 兼 一	稲 川 町
湯沢ショッピングデパート賞	八 嶋 千代志	南 外 村
稲 川 町長賞	井 上 周 治	稲 川 町

## 第4回 受賞者

秋田県知事賞	佐 藤 秀 一	稲 川 町
湯 沢 市長賞	佐々木 和 郎	湯 沢 市
秋田魁新報社賞	高 橋 雄 司	稲 川 町
河北新報社賞	井 川 武 松	湯 沢 市
毎日新聞社賞	阿 部 陽 子	稲 川 町
湯沢ショッピングデパート賞	松 橋 良 幸	阿 仁 町
稲 川 町長賞	中 川 徳二郎	雄 勝 町

## 第5回 受賞者

無審査工人 皆瀬村 小 椋 久太郎  
稲川町 稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	井 川 武 松	湯 沢 市
湯 沢 市長賞	宮 原 泰 治	湯 沢 市
秋田魁新報社賞	佐 藤 秀 一	稲 川 町
河北新報社賞	高 橋 雄 司	稲 川 町
毎日新聞社賞	中 川 徳二郎	雄 勝 町
湯沢ショッピングデパート賞	佐々木 和 郎	湯 沢 市
稲 川 町長賞	赤 川 勇 治	本 荘 市

## 第6回 受賞者

無審査工人 皆瀬村 小 椋 久太郎  
稲川町 稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	佐 藤 秀 一	稲 川 町
湯 沢 市長賞	高 橋 雄 司	稲 川 町
秋田魁新報社賞	北 山 賢 一	稲 川 町
河北新報社賞	小 椋 正 吾	稲 川 町
毎日新聞社賞	井 上 名兵エ	稲 川 町
湯沢ショッピングデパート賞	三 春 広 義	稲 川 町
稲 川 町長賞	本 間 功	十 文 字 町

## 第7回 受賞者

無審査工人 皆瀬村 小 椋 久太郎  
稲川町 稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	佐 藤 秀 一	稲 川 町
湯 沢 市長賞	高 橋 雄 司	稲 川 町
秋田魁新報社賞	井 川 武 松	湯 沢 市
河北新報社賞	小野寺 正 徳	稲 川 町
毎日新聞社賞	阿 部 陽 子	稲 川 町
湯沢ショッピングデパート賞	斎 藤 一 楽	本 荘 市
稲 川 町長賞	高 橋 久 宗	皆 瀬 村

## 第8回 受賞者

無審査工人 皆瀬村 小 椋 久太郎  
稲川町 稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	阿 部 陽 子	稲 川 町
湯 沢 市長賞	宮 原 泰 治	湯 沢 市
秋田魁新報社賞	高 橋 雄 司	稲 川 町
河北新報社賞	小 椋 正 吾	稲 川 町
毎日新聞社賞	高 橋 久 宗	皆 瀬 村
読売新聞社賞	北 山 賢 一	稲 川 町
湯沢ショッピングデパート賞	斎 藤 一 楽	本 荘 市
稲 川 町長賞	井 上 周 治	稲 川 町

## 第9回 受賞者

無審査工人 皆瀬村 小 椋 久太郎  
稲川町 稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	高 橋 雄 司	稲 川 町
湯 沢 市長賞	中 山 徳二郎	雄 勝 町
秋田魁新報社賞	北 山 賢 一	平 鹿 町
河北新報社賞	小野寺 正 徳	稲 川 町
毎日新聞社賞	高 橋 久 宗	皆 瀬 村
読売新聞社賞	小 椋 正 吾	稲 川 町
湯沢ショッピングデパート賞	佐々木 和 郎	湯 沢 市
稲 川 町長賞	三 春 広 義	稲 川 町

## 第10回 受賞者

無審査工人 皆瀬村 小 椋 久太郎  
稲川町 稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	小 椋 正 吾	稲 川 町
湯 沢 市長賞	井 川 武 松	湯 沢 市
秋田魁新報社賞	小野寺 正 徳	稲 川 町
河北新報社賞	佐 藤 秀 一	稲 川 町
毎日新聞社賞	高 橋 雄 司	稲 川 町
読売新聞社賞	阿 部 陽 子	稲 川 町
読売新聞広告社賞	高 橋 久 宗	皆 瀬 村
湯沢ショッピングデパート賞	小 南 清 子	皆 瀬 村
稲 川 町長賞	北 山 賢 一	平 鹿 町

第11回 受賞者 無審査工人 皆瀬村 小 椋 久太郎  
稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	北山賢一	平鹿町
湯沢市長賞	中川徳二郎	雄勝町
皆瀬村長賞	阿部市五郎	皆瀬村
秋田魁新報社賞	阿部陽子	稲川町
河北新報社賞	高橋秀雄	稲川町
毎日新聞社賞	佐藤秀一	稲川町
読売新聞社賞	小野寺正徳	稲川町
協働社湯沢サンエー賞	高橋静子	皆瀬村
稲川町長賞	小椋正吾	稲川町

第12回 受賞者 無審査工人 皆瀬村 小 椋 久太郎  
稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	高橋秀雄	稲川町
湯沢市長賞	小野寺幸楽	湯沢市
皆瀬村長賞	阿部市五郎	皆瀬村
秋田魁新報社賞	阿部木の实	稲川町
河北新報社賞	高橋久宗	皆瀬村
朝日新聞社賞	高橋静子	皆瀬村
毎日新聞社賞	小野寺正徳	稲川町
読売新聞社賞	中川徳二郎	雄勝町
協働社湯沢サンエー賞	宮原泰治	湯沢市
稲川町長賞	北山賢一	平鹿町

第13回 受賞者 無審査工人 皆瀬村 小 椋 久太郎  
稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	阿部木の实	稲川町
湯沢市長賞	三春広義	稲川町
皆瀬村長賞	三春文雄	稲川町
秋田魁新報社賞	小野寺正徳	稲川町
河北新報社賞	阿部陽子	稲川町
朝日新聞社賞	中川徳二郎	雄勝町
毎日新聞社賞	伊藤武	皆瀬村
読売新聞社賞	井上名兵エ	稲川町
協働社湯沢サンエー賞	本間功	十文字町
稲川町長賞	阿部市五郎	皆瀬村

第14回 受賞者 無審査工人 皆瀬村 小 椋 久太郎  
稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	小野寺正徳	稲川町
湯沢市長賞	阿部市五郎	皆瀬村
皆瀬村長賞	小南清子	皆瀬村
秋田魁新報社賞	北山賢一	平鹿町
河北新報社賞	阿部陽子	稲川町
朝日新聞社賞	中川徳二郎	雄勝町
毎日新聞社賞	小野寺幸楽	湯沢市
読売新聞社賞	三春広義	稲川町
協働社湯沢サンエー賞	井上名兵エ	稲川町
稲川町長賞	高橋秀雄	稲川町

第15回 受賞者 無審査工人 皆瀬村 小 椋 久太郎  
稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	高橋久宗	皆瀬村
湯沢市長賞	小南三郎	皆瀬村
皆瀬村長賞	宮原幸亀	湯沢市
秋田魁新報社賞	中川徳二郎	雄勝町
河北新報社賞	北山賢一	平鹿町
朝日新聞社賞	小椋正吾	稲川町
毎日新聞社賞	山中武	増田町
読売新聞社賞	小野寺正徳	稲川町
協働社湯沢サンエー賞	三春文雄	稲川町
稲川町長賞	阿部市五郎	皆瀬村

第16回 受賞者 無審査工人 皆瀬村 小 椋 久太郎  
稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	高橋雄司	稲川町
湯沢市長賞	北山賢一	平鹿町
皆瀬村長賞	三春文雄	稲川町
秋田魁新報社賞	高橋久宗	皆瀬村
河北新報社賞	小野寺正徳	稲川町
朝日新聞社賞	小椋正吾	稲川町
毎日新聞社賞	菅原修	本荘市
読売新聞社賞	小南三郎	皆瀬村
協働社湯沢サンエー賞	井上周治	稲川町
稲川町長賞	宮原幸亀	湯沢市

第17回 受賞者 無審査工人 皆瀬村 小 椋 久太郎  
稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	高橋久宗	皆瀬村
湯沢市長賞	中川徳二郎	雄勝町
皆瀬村長賞	宮原幸亀	湯沢市
秋田魁新報社賞	北山賢一	平鹿町
河北新報社賞	佐藤秀一	稲川町
朝日新聞社賞	菅原修	本荘市
毎日新聞社賞	三春広義	稲川町
読売新聞社賞	三春文雄	稲川町
協働社湯沢サンエー賞	高橋雄司	稲川町
稲川町長賞	阿部市五郎	皆瀬村

第18回 受賞者 無審査工人 皆瀬村 小 椋 久太郎  
稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	佐藤秀一	稲川町
湯沢市長賞	北山賢一	平鹿町
皆瀬村長賞	阿部市五郎	皆瀬村
秋田魁新報社賞	高橋雄司	稲川町
河北新報社賞	阿部陽子	稲川町
朝日新聞社賞	高橋久宗	皆瀬村
毎日新聞社賞	菅原修	本荘市
読売新聞社賞	三春文雄	稲川町
協働社湯沢サンエー賞	井川武松	湯沢市
稲川町長賞	佐藤良徳	東成瀬村

第19回 受賞者 無審査工人 皆瀬村 小 椋 久太郎  
稲川町 稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	小野寺 正 徳	稲 川 町
湯 沢 市 長 賞	小野寺 幸 楽	湯 沢 市
皆 瀬 村 長 賞	高 橋 久 宗	皆 瀬 村
秋田魁新報社賞	佐 藤 秀 一	稲 川 町
河北新報社賞	高 橋 雄 司	稲 川 町
朝日新聞社賞	阿 部 市五郎	皆 瀬 村
毎日新聞社賞	中 川 徳二郎	雄 勝 町
読売新聞社賞	宮 原 幸 亀	湯 沢 市
協働社湯沢サンエー賞	菅 原 修	本 荘 市
稲 川 町 長 賞	阿 部 陽 子	稲 川 町

第20回 受賞者 無審査工人 皆瀬村 小 椋 久太郎  
稲川町 稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	高 橋 雄 司	稲 川 町
湯 沢 市 長 賞	阿 部 陽 子	稲 川 町
皆 瀬 村 長 賞	中 川 徳二郎	雄 勝 町
秋田魁新報社賞	北 山 賢 一	平 鹿 町
河北新報社賞	小野寺 正 徳	稲 川 町
朝日新聞社賞	小野寺 幸 楽	湯 沢 市
毎日新聞社賞	井 川 武 松	湯 沢 市
読売新聞社賞	阿 部 市五郎	皆 瀬 村
協働社湯沢サンエー賞	菅 原 修	本 荘 市
稲 川 町 長 賞	三 春 文 雄	稲 川 町

第21回 受賞者 無審査工人 皆瀬村 小 椋 久太郎  
稲川町 稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	中 川 徳二郎	雄 勝 町
湯 沢 市 長 賞	阿 部 市五郎	皆 瀬 村
皆 瀬 村 長 賞	八 嶋 喜代美	神 岡 町
秋田魁新報社賞	小野寺 幸 楽	湯 沢 市
河北新報社賞	菅 原 修	本 荘 市
朝日新聞社賞	阿 部 陽 子	稲 川 町
毎日新聞社賞	三 春 文 雄	稲 川 町
読売新聞社賞	高 橋 久 宗	皆 瀬 村
協働社湯沢サンエー賞	三浦 茂・節子	飯 田 川 町
稲 川 町 長 賞	本 間 功	十 文 字 町

第22回 受賞者 無審査工人 皆瀬村 小 椋 久太郎  
稲川町 稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	高 橋 雄 司	稲 川 町
湯 沢 市 長 賞	小野寺 幸 楽	湯 沢 市
皆 瀬 村 長 賞	小野寺 正 徳	稲 川 町
秋田魁新報社賞	阿 部 陽 子	稲 川 町
河北新報社賞	八 嶋 喜代美	神 岡 町
朝日新聞社賞	三 春 文 雄	稲 川 町
毎日新聞社賞	高 橋 久 宗	皆 瀬 村
読売新聞社賞	三 春 広 義	稲 川 町
協働社湯沢サンエー賞	中 川 徳二郎	雄 勝 町
稲 川 町 長 賞	本 間 功	十 文 字 町

第23回 受賞者 無審査工人 稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	高 橋 雄 司	稲 川 町
湯 沢 市 長 賞	小野寺 正 徳	稲 川 町
皆 瀬 村 長 賞	阿 部 陽 子	稲 川 町
秋田魁新報社賞	八 嶋 喜代美	神 岡 町
河北新報社賞	小 南 三 郎	皆 瀬 村
朝日新聞社賞	高 橋 久 宗	皆 瀬 村
毎日新聞社賞	菅 原 修	本 荘 市
読売新聞社賞	阿 部 市五郎	皆 瀬 村
協働社湯沢サンエー賞	小野寺 幸 楽	湯 沢 市
稲 川 町 長 賞	山 中 武	増 田 町

第24回 受賞者 無審査工人 稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	高 橋 久 宗	皆 瀬 村
湯 沢 市 長 賞	高 橋 雄 司	稲 川 町
稲 川 町 長 賞	北 山 賢 一	平 鹿 町
皆 瀬 村 長 賞	小野寺 正 徳	稲 川 町
秋田魁新報社賞	阿 部 陽 子	稲 川 町
河北新報社賞	三 春 文 雄	稲 川 町
朝日新聞社賞	井 上 周 治	稲 川 町
毎日新聞社賞	中 川 徳二郎	雄 勝 町
読売新聞社賞	小野寺 幸 楽	湯 沢 市
審査員奨励賞	桜 田 一 二	羽 後 町

第25回 受賞者 無審査工人 稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	高 橋 雄 司	稲 川 町
湯 沢 市 長 賞	高 橋 久 宗	皆 瀬 村
稲 川 町 長 賞	菅 原 修	本 荘 市
皆 瀬 村 長 賞	三 春 文 雄	稲 川 町
秋田魁新報社賞	北 山 賢 一	平 鹿 町
河北新報社賞	小野寺 正 徳	稲 川 町
朝日新聞社賞	小野寺 幸 楽	湯 沢 市
毎日新聞社賞	阿 部 陽 子	稲 川 町
読売新聞社賞	阿 部 市五郎	皆 瀬 村
審査員特別賞	井 上 周 治	稲 川 町

第26回 受賞者 無審査工人 稲川町 阿 部 平四郎

秋田県知事賞	小野寺 幸 楽	湯 沢 市
湯 沢 市 長 賞	菅 原 修	本 荘 市
稲 川 町 長 賞	高 橋 久 宗	皆 瀬 村
皆 瀬 村 長 賞	小野寺 正 徳	稲 川 町
秋田魁新報社賞	三 春 文 雄	稲 川 町
河北新報社賞	北 山 賢 一	平 鹿 町
朝日新聞社賞	井 川 武 松	湯 沢 市
毎日新聞社賞	本 間 功	十 文 字 町
読売新聞社賞	阿 部 市五郎	皆 瀬 村
審査員特別賞	高 橋 雄 司	稲 川 町

**第27回 受賞者** 無審査工人 稲川町 阿部 平四郎

秋田県知事賞	阿部陽子	稲川町
湯沢市長賞	三春文雄	稲川町
稲川町長賞	高橋久宗	皆瀬村
皆瀬村長賞	北山賢一	平鹿町
秋田魁新報社賞	井川武松	湯沢市
河北新報社賞	中川徳二郎	雄勝町
朝日新聞社賞	菅原征次郎	中仙町
毎日新聞社賞	小野寺幸榮	湯沢市
読売新聞社賞	小南三郎	皆瀬村
審査員特別賞	高橋雄司	稲川町

**第28回 受賞者** 無審査工人 稲川町 阿部 平四郎

秋田県知事賞	三春文雄	稲川町
湯沢市長賞	高橋久宗	皆瀬村
稲川町長賞	井上周治	稲川町
皆瀬村長賞	井川武松	湯沢市
秋田魁新報社賞	小野寺正徳	稲川町
河北新報社賞	阿部市五郎	皆瀬村
朝日新聞社賞	阿部陽子	稲川町
毎日新聞社賞	北山賢一	平鹿町
読売新聞社賞	本間功	十文字町

**第29回 受賞者** 無審査工人 稲川町 阿部 平四郎

秋田県知事賞	高橋久宗	皆瀬村
湯沢市長賞	三春文雄	稲川町
稲川町長賞	小野寺正徳	稲川町
皆瀬村長賞	本間功	十文字町
秋田魁新報社賞	中川徳二郎	雄勝町
河北新報社賞	阿部市五郎	皆瀬村
朝日新聞社賞	井川武松	湯沢市
毎日新聞社賞	桜田一二	羽後町
読売新聞社賞	井上周治	稲川町

**第30回 受賞者** 無審査工人 湯沢市 阿部 平四郎

秋田県知事賞	小野寺正徳	湯沢市
湯沢市長賞	阿部市五郎	湯沢市
秋田魁新報社賞	高橋久宗	湯沢市
河北新報社賞	阿部陽子	湯沢市
朝日新聞社賞	井上周治	湯沢市
毎日新聞社賞	中川徳二郎	湯沢市
読売新聞社賞	本間功	横手市

**第31回 受賞者** 無審査工人 湯沢市 阿部 平四郎

秋田県知事賞	阿部市五郎	湯沢市
湯沢市長賞	小野寺正徳	湯沢市
秋田魁新報社賞	沼倉孝彦	湯沢市
河北新報社賞	三春文雄	湯沢市
朝日新聞社賞	阿部陽子	湯沢市
毎日新聞社賞	中川徳二郎	湯沢市
読売新聞社賞	高橋久宗	湯沢市

**第32回 受賞者** 無審査工人 湯沢市 阿部 平四郎

秋田県知事賞	小野寺正徳	湯沢市
湯沢市長賞	山中武	横手市
秋田魁新報社賞	三春文雄	湯沢市
河北新報社賞	阿部陽子	湯沢市
朝日新聞社賞	本間功	横手市
毎日新聞社賞	中川徳二郎	湯沢市
読売新聞社賞	高橋久宗	湯沢市

**第33回 受賞者** 無審査工人 湯沢市 阿部 平四郎

秋田県知事賞	小野寺正徳	湯沢市
湯沢市長賞	阿部陽子	湯沢市
秋田魁新報社賞	沼倉孝彦	湯沢市
河北新報社賞	高橋久宗	湯沢市
朝日新聞社賞	北山賢一	横手市
毎日新聞社賞	三春文雄	湯沢市
読売新聞社賞	本間功	横手市

**第34回 受賞者** 無審査工人 湯沢市 阿部 平四郎

秋田県知事賞	小野寺正徳	湯沢市
湯沢市長賞	三春文雄	湯沢市
秋田魁新報社賞	阿部陽子	湯沢市
河北新報社賞	山中武	横手市
朝日新聞社賞	本間功	横手市
毎日新聞社賞	中川徳二郎	湯沢市
読売新聞社賞	小南三郎	湯沢市
実行委員会委員長奨励賞	高橋勇	秋田市

**第35回 受賞者** 無審査工人 湯沢市 阿部 平四郎

秋田県知事賞	三春文雄	湯沢市
湯沢市長賞	本間功	横手市
秋田魁新報社賞	阿部陽子	湯沢市
河北新報社賞	菅原修	由利本荘市
朝日新聞社賞	中川郁夫	湯沢市
毎日新聞社賞	阿部市五郎	湯沢市
読売新聞社賞	井上周治	湯沢市

第36回 受賞者 無審査工人 湯沢市 阿部 平四郎 湯沢市 湯沢市 高橋 雄司

秋田県知事賞	北山賢一	横手市
湯沢市長賞	小椋英二	東京都
秋田魁新報社賞	三春文雄	湯沢市
河北新報社賞	本間 功	横手市
朝日新聞社賞	阿部市五郎	湯沢市
毎日新聞社賞	中川郁夫	湯沢市
読売新聞社賞	菅原 修	由利本荘市

第37回 受賞者 無審査工人 湯沢市 阿部 平四郎 湯沢市 湯沢市 高橋 雄司

秋田県知事賞	小椋英二	東京都
湯沢市長賞	三春文雄	湯沢市
秋田魁新報社賞	阿部市五郎	湯沢市
河北新報社賞	沼倉孝彦	湯沢市
朝日新聞社賞	小野寺正徳	湯沢市
毎日新聞社賞	中川郁夫	湯沢市
読売新聞社賞	菅原 修	由利本荘市

第38回 受賞者 無審査工人 湯沢市 高橋 雄司

秋田県知事賞	三春文雄	湯沢市
湯沢市長賞	小野寺正徳	湯沢市
秋田魁新報社賞	阿部陽子	湯沢市
河北新報社賞	小椋英二	東京都
朝日新聞社賞	北山賢一	横手市
毎日新聞社賞	沼倉孝彦	湯沢市
読売新聞社賞	小南三郎	湯沢市

第39回 受賞者 無審査工人 湯沢市 高橋 雄司 湯沢市 湯沢市 高橋 雄司

秋田県知事賞	三春文雄	湯沢市
湯沢市長賞	阿部市五郎	湯沢市
秋田魁新報社賞	小野寺正徳	湯沢市
河北新報社賞	小椋英二	東京都
朝日新聞社賞	本間 功	横手市
毎日新聞社賞	菅原 修	由利本荘市
読売新聞社賞	佐藤達雄	湯沢市

第40回 受賞者 無審査工人 湯沢市 高橋 雄司 湯沢市 湯沢市 高橋 雄司

秋田県知事賞	小野寺正徳	湯沢市
湯沢市長賞	三春文雄	湯沢市
秋田魁新報社賞	阿部市五郎	湯沢市
河北新報社賞	沼倉孝彦	湯沢市
朝日新聞社賞	北山賢一	横手市
毎日新聞社賞	菅原 修	由利本荘市
読売新聞社賞	佐藤 こずえ	由利本荘市

第41回 受賞者 無審査工人 湯沢市 高橋 雄司 湯沢市 湯沢市 高橋 雄司

秋田県知事賞	三春文雄	湯沢市
湯沢市長賞	阿部市五郎	湯沢市
秋田魁新報社賞	北山賢一	横手市
河北新報社賞	佐藤達雄	湯沢市
朝日新聞社賞	柴田良二	湯沢市
毎日新聞社賞	小野寺正徳	湯沢市
読売新聞社賞	本間 功	横手市

第42回 受賞者 無審査工人 湯沢市 高橋 雄司 湯沢市 湯沢市 高橋 雄司

秋田県知事賞	三春文雄	湯沢市
湯沢市長賞	北山賢一	横手市
秋田魁新報社賞	小野寺正徳	湯沢市
河北新報社賞	本間 功	横手市
朝日新聞社賞	阿部市五郎	湯沢市
毎日新聞社賞	中川郁夫	湯沢市
読売新聞社賞	佐藤達雄	湯沢市
湯沢市芸術文化協会賞	桜田一二	羽後町

第43回 受賞者 無審査工人 湯沢市 高橋 雄司 湯沢市 湯沢市 高橋 雄司

秋田県知事賞	北山賢一	横手市
湯沢市長賞	三春文雄	湯沢市
秋田魁新報社賞	沼倉孝彦	湯沢市
河北新報社賞	本間 功	横手市
朝日新聞社賞	小椋英二	東京都
毎日新聞社賞	柴田良二	湯沢市
読売新聞社賞	菅原 修	由利本荘市
湯沢市芸術文化協会賞	阿部市五郎	湯沢市

第44回 受賞者 無審査工人 湯沢市 高橋 雄司 湯沢市 湯沢市 高橋 雄司

秋田県知事賞	高橋一成	美郷町
湯沢市長賞	本間 功	横手市
秋田魁新報社賞	三春文雄	湯沢市
河北新報社賞	北山賢一	横手市
朝日新聞社賞	佐藤達雄	湯沢市
毎日新聞社賞	沼倉孝彦	湯沢市
読売新聞社賞	菅原 修	由利本荘市
湯沢市芸術文化協会賞	柴田良二	湯沢市

<一般公募部門>

実行委員会委員長奨励賞	田村 正	秋田市
-------------	------	-----

第45回 受賞者 無審査工人 湯沢市 高橋 雄司 湯沢市 湯沢市 高橋 雄司

秋田県知事賞	高橋一成	美郷町
湯沢市長賞	三春文雄	湯沢市
秋田魁新報社賞	岡本 雄	由利本荘市
河北新報社賞	沼倉孝彦	湯沢市
朝日新聞社賞	本間 功	横手市
読売新聞社賞	菅原 修	由利本荘市
湯沢市芸術文化協会賞	藤原勝郎	湯沢市

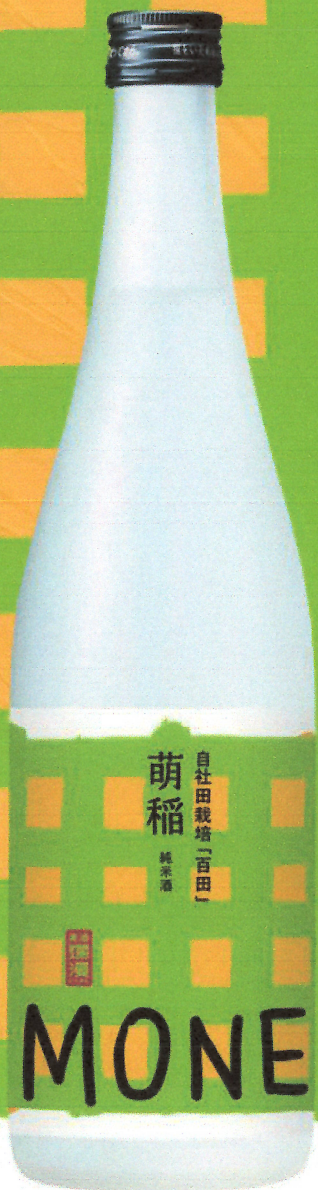
MONE

# 萌稲



自社田栽培純米酒

田んぼから、  
つくりました。



「百田」

## MONE



「穂積」

## MONE



### 爛漫初の自社田栽培 純米酒「萌稲」

720ml  
1,210円(消費税込価格) 1,100円(本体価格)

300ml  
550円(消費税込価格) 500円(本体価格)

720ml  
1,210円(消費税込価格) 1,100円(本体価格)

300ml  
550円(消費税込価格) 500円(本体価格)